

試験研究成果普及情報

部門	花植木	対象	普及
課題名：輸出に向けた数種の造形樹の根の水洗・鉢上げ技術			
〔要約〕キンメツゲ、ラカンマキ、キャラボクを土を付けず安全に輸出するためには、5月上旬までに根を水洗し、消石灰でpH4.5に調整したピートモスを使用して鉢上げする。			
フリーワード 植木、輸出、根の水洗、pH、ピートモス			
実施機関名 主 査 農業総合研究センター・生産技術部・花き緑化研究室 協力機関 海匠農林振興センター、山武農林振興センター			
実施期間 2007年度			

〔目的及び背景〕

海外に向けた造形樹の新たな需要を創造し、県内植木生産の振興を図るため、将来にわたって輸出を継続するための支援技術を確立する。本課題では、県内で生産が多く、海外で人気が高いイヌツゲ等の実際輸出されている株と同程度（樹高1.5～1.8m）の大きさの造形樹を供試し、根洗い・鉢上げの適期、鉢上げ用ピートモスpHの調整程度を明らかにする。

〔成果内容〕

- 1 消石灰混入量が多いほどpH及びECは高まる（表1）。
- 2 鉢上げ用ピートモスの酸度は、キンメツゲ、ラカンマキ、キャラボクの3樹種とも、消石灰を混用し、pHを4.5程度に調整する（表2）。
- 3 水洗・鉢上げは、供試した3樹種とも5月上旬までに行う（表3）。

〔留意事項〕

- 1 消石灰混入量はピートモスのpHによって加減し、pH4.5になるよう調整する。
- 2 水洗・鉢上げ時期が遅れると、枯死等の障害発生の危険性が高まる。
- 3 鉢上げ用のポットは、根鉢径より若干小さいものを用いる。

〔普及対象地域〕 県下全域の植木生産者

〔行政上の措置〕

〔普及状況〕

平成19年度に千葉県植木生産組合連合会の下部組織として輸出入部会が設立され、本成果を活用して植木輸出に取り組んでいる。

[成果の概要]

表1 ピートモスへの消石灰混入量とpH及びEC値

消石灰混入量 (g/L)	pH	EC (ms/m)
0	3.7	17.2
1	4.1	21.2
2	4.5	24.4
4	6.2	28.9
8	7.1	41.8

表2 ピートモスへの消石灰混入量と供試樹種の根の再生及び葉色

供試樹種	消石灰混入量 (g/L)	活着率 (%)	新根新鮮重 (g/株)	葉色 (RHSCC)
キンメツゲ	0	100	292	黄-緑A 1 4 7
	1	100	294	黄-緑A 1 4 6
	2	100	307	黄-緑A 1 4 6
	4	100	262	黄-緑A 1 4 6
	8	100	237	黄-緑A 1 4 6
ラカンマキ	0	100	85	黄-緑A 1 4 7
	1	100	84	黄-緑A 1 4 6
	2	100	91	黄-緑A 1 4 6
	4	100	87	黄-緑A 1 4 6
	8	100	78	黄-緑A 1 4 6
キャラボク	0	100	404	黄-緑A 1 4 6
	1	100	422	黄-緑A 1 4 6
	2	100	493	黄-緑A 1 4 6
	4	100	328	黄-緑B 1 5 2
	8	100	288	黄-緑C 1 5 2

注1) 平成19年4月30日にポットで栽培された樹高0.6~0.8mの株の根を水洗後、消石灰を各量混入したピートモスで径21cmポットに鉢上げ、同年12月26日に生育状況を調査

2) RHSCCは、英国王立園芸協会カラーチャート

表3 水洗・鉢上げ時期と供試樹種の生育

供試樹種	水洗・鉢上げ日	活着率 (%)	地上部の状態	新根量 (g/株)
キンメツゲ	4月30日~5月1日	100	健全	1,372
	6月1日	66	一部枝枯れ	712
	7月1日~7月2日	33	健全	394
ラカンマキ	4月30日~5月1日	100	一部枝枯れ	400
	6月1日	100	一部枝枯れ	243
	7月1日~7月2日	66	一部枝枯れ	161
キャラボク	4月30日~5月1日	100	健全	2,073
	6月1日	100	健全	1,208
	7月1日~7月2日	0	一部枝枯れ	-

注) 平成19年4月30日から毎月30日前後に露地で栽培され根巻きされた樹高1.5~1.8mの株の根を水洗後、消石灰を2g/L混入したピートモスで径60~75cmポットに鉢上げし、平成20年1月7日に生育状況を調査

[発表及び関連文献]

[その他]

アクションプラン「千葉県産植木の輸出支援技術の開発」(平成18~20年度)